

# 平成26年度 事業報告書

大慈デイサービスセンター

## 1. 《法人ビジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」を基本方針として、要援護の高齢者がより自律的な生活を可能な限り自立して安らかに営むこと、社会的孤立感を解消すること、心身機能の維持、向上を図ることを目的として高齢者自身を援助することの他、介護する家族の身体的・精神的負担を軽減できるよう努力し、在宅での介護が中心となるデイサービスの利用者に対し、ケガ・事故の無い様に細心の注意を払い、より良い環境でのサービスを提供していく。

## 3. 《中・長期計画》

- 最終目標 『ADLが向上するデイサービスの構築を目指す』
- 中期計画
  - ①経営理念やビジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができる。
  - ②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質向上を図る。

## 4. 《部門別目標》

### ＜ケア部門＞

#### ●目標目的及び内容

事業所の増加やゲストの入院等により、26年度実績 65.9% (-2.7%) と業績低下が続いている。利用されていても入所目的であるためにすぐに SS に移行されるなど、デイサービスの利用期間が以前とは違い、短くなっているようにも思える。利用に合わなければ、時間を変更するなど体調やニーズに合った利用を勧めているが、丁度良い利用時間とご家族の希望する利用時間に相違があるなど、話し合いをしなければいけない事が多く現れた。

#### ●目標 『選択サービス種類の増加及び満足度の促進』

①選択サービスの提供方法の再検討を行い、種類の増加及び満足度の促進を図る。

##### A) ニーズを把握したうえでのグループ化

現状ニーズ抽出は少数しか行えていないが、午前中の集団レク・製作レクに分けた取り組みを行っている。初めは退屈されていたゲストも周りがやっているのを見て取り組み始めるなど、意欲的な方が見られてきている部分がある。

##### B) クラブ活動の種類を再検討。

カラオケを中心としたクラブはあるも、継続して行えるものが一つしかない。しかしカラオケについては食後直ぐに歌い始める方や、17時まで残って歌われる方など熱心にされている方が多く見られる。

②充足率 80%及び登録者 30 名を目指し、経営基盤の安定を図る。

##### A) 体調不良の欠席数を減少させる取り組み

当日欠席のゲストに特に発熱など症状がなく「なんとなくしんどい」等の欠席を解消する取り組みを今年から行った。「送迎時に様子だけでも見に行かせて下さい。」と声をかけることによって気持ちを前向きにすることが出来、利用に繋がった例が10数件と件あり、当日体調不良欠席の減少に努めた。

B) 利用ポイントの工夫

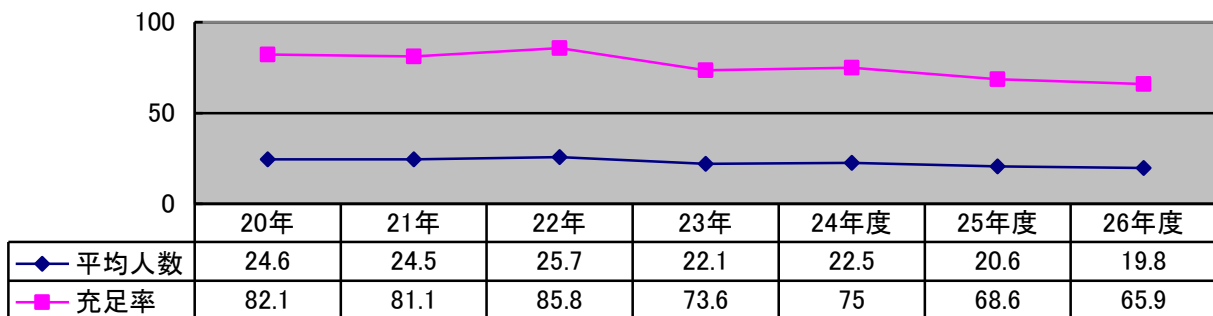
以前より少ない曜日(火曜日・木曜日)への利用ポイント倍のキャンペーンを行う。以前より短絡的には増加傾向であったがあまり変化が無く、ゲストへも浸透の様子はなかった。

<経営部門>

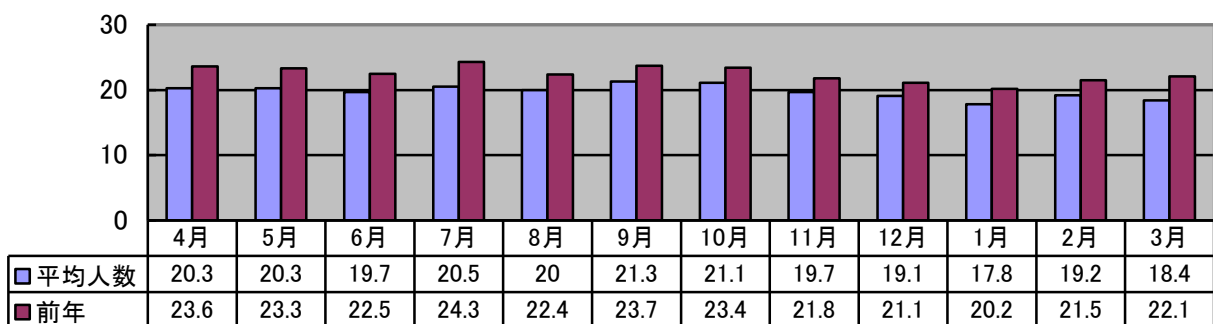
- ①充足率80%維持及び登録者30名を目指し、経営基盤の安定を図る。
- ②新たな加算取得を目指し収入アップを目指す。

前年度よりさらに3%の大幅低下あり。長期にわたっての入院やSS入所による登録抹消など依然多くあり、前年度より抹消件数の多さが目立つ。また、利用となっても直ぐに施設入所になり、短絡的な利用になってしまう場合が今年度も目立っている。在宅よりロングショートに変更されることが多くあり、現状で在宅向きでないゲストが多く見られる。

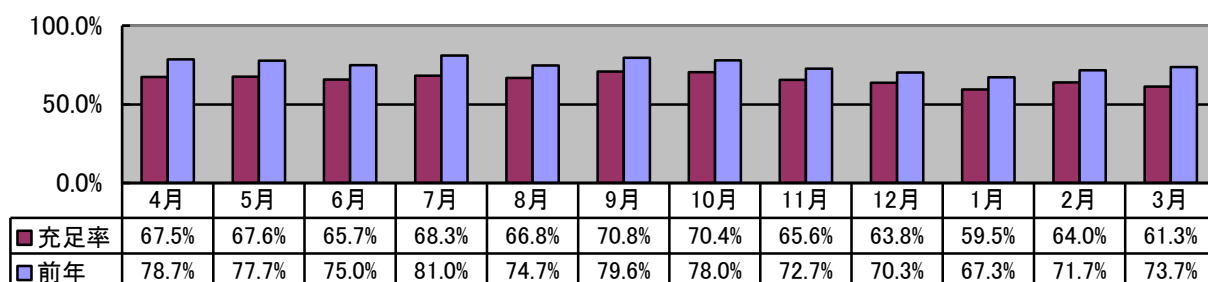
年度別推移



26年度月別人数推移



### 26年度月別充足率推移



### ●主な欠席理由 (SS→ショートステイ)

月	営業日	欠席理由						合計
		体調不良	私用	感染	入院	SS	警報	
4月	26	50	55	0	34	24	0	163
5月	27	49	60	0	37	28	0	174
6月	25	17	43	0	27	31	0	118
7月	27	19	39	0	13	36	0	107
8月	26	31	42	0	12	36	23	144
9月	26	18	35	0	32	40	0	125
10月	27	27	46	0	27	36	0	136
11月	25	40	49	0	37	36	0	162
12月	27	65	44	0	31	43	0	183
1月	26	55	62	51	64	40	0	272
2月	24	14	25	0	69	37	0	145
3月	26	28	52	0	42	32	0	154
合計	合計	413	552	51	425	419	23	1883
	平均	34.4	46.0	4.3	35.4	34.9	1.9	156.9
	割合	22%	29%	3%	23%	22%	1%	

### ●曜日別年間平均人数等 (料金は目安)

	人数	料金	欠席
月	20.7	172,607	6.7
火	18.6	146,329	5.4
水	20.8	185,593	5.6
木	16.7	134,798	6.6
金	22.6	167,311	4.5
土	19.4	184,221	7.4
平均	19.8	165,143	6.0

●介護度別年齢別等人数表

平成27年3月31日時点での実人数

平成27年3月31日時点での実人数

要介護度	26年度				25年度			
	合計人数	男	女	平均	合計人数	男	女	平均
支援1	77	24	53	87.2歳	80	9	71	83.6歳
支援2	160	16	144	87.2歳	179	37	142	86.6歳
1	240	67	173	86.5歳	170	48	122	84.7歳
2	231	65	166	88.3歳	221	65	156	87.3歳
3	174	49	125	86.1歳	166	49	117	86.3歳
4	121	22	99	83.7歳	51	19	32	87.6歳
5	58	22	36	81.7歳	74	18	56	81.7歳
合計	1061	265	796		941	245	696	
平均介護度		2.6	2.4	2.5		2.5	2.5	2.5
平均年齢		81.8歳	87.8歳	86.2歳		83.8歳	86.5歳	85.8歳
最高年齢		95歳	100歳			99歳	104歳	
最小年齢		62歳	61歳			61歳	73歳	

<栄養科>

『選択できるデイに向けて食事面から役割を果たす』

①ゲストの嗜好にあった、印象に残る食事計画の実施

- A) 他事業所や業者等の周辺から情報収集を行う。
- B) 検食簿やゲストのアンケート集計より、部署担当とサービスの提案材料を作る。
- C) 毎月1回の新しい食事行事を継続する（楽しめる刺激ある食事計画）。

新しい企画を継続してスムーズにできるよう、新しい実施方法を提案し、昼食時にランチプレートを開始した。毎月1回、曜日を変えて温かい冷たいまま提供しデイフロアで、ゲストと職員と一緒に盛り付け、ゲストからは豪華で美味しいと好評である。外部からの情報収集についてはできていない為、今後の課題である。選択については、食事面からのアプローチとして検食簿、ゲストアンケート結果から献立作成時に取り入れている。一人暮らしや、在宅では作ることが少ないメニューは好評であり、献立の同メニューが続くことを望まれる声もあり、アンケート結果としてゲストの声を取り入れた選択メニューとして実施している。次年度も継続して行っていきたい。

●月間行事（1週間）

選択食	毎日（行事食週は除く）、前月に主菜2種類から写真を見て選んで頂いた。年度後半はアンケート結果を取り入れている。
おやつ選択	毎日、到着時に3種類から選択して頂き、利用終了時間により2部制で配膳した。
誕生日会	最終週。松花堂弁当箱、1人鍋、寿司祝い皿、半月盆等から2～3パターンで盛付、料理は月により2パターンから毎日変更して1週間提供した。

●年間行事食

月	年間行事	行事食
4月	もちつき	創立記念として実施した餅つきに参加していただき、紅白餅をつくり参加されたゲストへその場で提供した。
	土鍋ご飯	2日毎で具と味を変えた。デイフロアで、土鍋で炊き、食事前から匂い広がることもあり、ゲストからは好評であった。
5月	母の日週間	型押しのご飯を3日間、松花堂弁当箱盛りを3日間に分けて提供した。
	おやつ盛り合わせ	和菓子選択3日、洋菓子選択3日行った。洋菓子が人気であり、袋に入っている菓子はゲストが持って帰られようとされる姿が多く見られた。雰囲気に関してとても喜ばれている様に思われた。今後は年2回実施する予定である。
6月	父の日週間	松花堂弁当盛りを3日間、鮭寿司を3日間にて提供した。
7月	七夕週間	3日間七夕寿司、3日間3色の七夕そうめんとして涼しげに盛り付けて提供した。
8月	かき氷	間食を食べに来られたゲストから目の前で作り、蜜は2種から選んでいただき、あんこを添えて提供した。
	そうめん	少なく感じるゲストもおおり、概ね好評であった。次回行う時はおかわり分を別で配膳しておくこととなった。
9月	パンバイキング	おかずを変更し、パンは5種類からの選択としたが、同じパンであったため、次回は変更したい。洋食の味の魚を提供したが魚にはご飯が良いと言われる方が多かった。
10月	土鍋ご飯	今年度3回目であるが飽きることなく好評である。
11月	焼き芋	時間の都合から、園庭で提供できなかったが、デイルームで焼き立てを提供し好評であった。
	おやつ盛り合わせ	少ない小さな菓子が多くあると好評だった。小袋に入った物はやはり持って帰られるので、今後の提供方法を変更した。
12月	甘酒週間	甘酒と、小さなお菓子を提供した。家では作ることがないと、ゲストから好評であった。
1月	ランチプレート	プレートにフロアで温かいまま盛り付け、好評であった。来年度は月1回のみ毎月、曜日を変えて実施することで、無理なく継続していきたい。
	餅つき	毎日1臼ずつ餅をつき、ゲストにも丸めていただいた。3種類の味でつきたての餅を提供した。
2月	節分週間 昼食寿司 間食時パンバイキング	巻き寿司は、のり、酢飯、具をのせご自身で作っていただいた。好評であったが、節分時期はご自宅でも食べられるため、次回は節分時期とは違う日に実施したい。焼き立ての5種類のパンからお好きなパンを選んでいただいた。週の前半後半を分けて、違う種類のパンを提供した。
3月	洋菓子盛り合わせ	ケーキ、クッキー、チョコなど少量ずつを上品に盛り付けて提供した。

●毎週金曜日の料理作り

	実施内容
昼食	けんちん汁 豚汁 にゅうめん 具だくさん汁 中華スープ 粕汁 コンソメスープ ビーフシチュー フルーツ盛り 酢の物 豚肉と野菜のゴマ味噌煮 カレーライス お雑煮 桜のいなり寿司 黒豆 ちらし寿司 エビピラフ ひな祭りにぎり 土鍋ご飯 (①さつまいもご飯②雑魚ご飯③ツナとえのきの炊き込みご飯④豆ごはん ⑤炊き込みご飯⑥しらすと梅ひじきご飯⑦麦入りきのこご飯)
間食	みたらし団子 チョコレートケーキ 白玉汁粉 じゃが芋餅 ホットケーキ あんみつ 桜餅 洋菓子盛りつけ かき氷 フレンチトースト アップルパイ おはぎ (きなこ) おはぎ (あん) スイートポテト 草餅 チョコバナナケーキ さつま芋のりんご煮 甘酒・和菓子盛りつけ じゃがいも餅

<看護部>

①バイタルチェック

- A) 利用時検温、脈拍、血圧測定を行い体調の確認を行う。
- B) 入浴時の観察を行う。

バイタルサインチェックを的確に行なうことができ、ゲストの様子も把握出来ていた。細やかな変化にも注意を払い、状態の悪化にも対応できていた。また、緊急時のファイルを作成し内服や治療状況なども把握していく必要がある為、現在作成中である。デイサービスでの看護師の役割として、異常の早期発見と緊急時の対応が非常に重要であり知識の向上とスキルアップを目指し努力していく必要がある。またレクリエーションなどにも参加し日々の業務の中でCWとコミュニケーションを図りながら連携強化に努め、ゲストに適切なケアが提供できるように努力していきたい。

<理学療法科>

①個別機能訓練者のADL維持・向上

- A) 在宅状況に順応した訓練計画作成・実施・随時

②サービス選択型事業の実現への助言

- A) サービスの充実
- B) 選択型体制の実現

年間を通じて、訓練実施に関しては問題なく実践出来ていたが、目標人数の達成は出来なかった。オーバーワーク等による離脱者は居なかったが、登録抹消・永眠等により年度始めからの登録者より、大幅な減少となっている状況である。次年度は制度改正もあり状況的には厳しいものがあるが、増加傾向へと繋げる工夫をする必要がある。

相談等においては窓口の設定は出来なかったが、随時に相談に対しての返答・アドバイスは専門的観点から実践する事が出来た。

5. <<会議の実施内容・反省点>>

①デイ検討委員会

施設長、居宅ケアマネジャー、施設ケアマネジャー、栄養士、相談員、介護職員でデイサービスのサービスにおいて検討を行っている。

②デイ部会

独自で直面している様々な問題点の改善策、行事の検討等を行っている。今年度も事業計

画の進捗状況と問題点を中心に話し合いを行ない目標達成へ向け取り組んだ。

- 6. 《会議の実施内容・反省点》
  - 7. 《職員会議・OFF-JT》
- } 弥勒園同様

8. 《行事の実施内容・反省点》

●毎月定例行事

行事名
誕生会、理髪サービス、リハビリ体操

●年間行事

行事名	時期	反省
園庭 お花見	4/4～4/11	35名の方が参加。当初の目的より大幅に変更したが、園庭での花見を開催。個々に写真を撮影することが出来、茶話会の場を設けて楽しめた。「また来年もデイサービスで花見がしたい！」と喜びの声がある。
母の日会	5/5～5/11	男性職員よりカーネーションをお渡しし、個々に母の日のエピソードを語って頂いた。毎年、プレゼントするカーネーションは茎が太く、多数の蕾がついており好評を得ている。「こんな見事なカーネーションはないね。ありがとう。」と喜ばれていた。
父の日会	6/9～6/14	い草枕を購入し、男性利用者へプレゼント行う。「こんな良いものくれるのか！」と驚きの声が聞かれた。
買い物 ツアー①	6/12～6/24	20名の方が参加。今年度初の買い物ツアーでマルナカ玉津店・セリオに行くことが出来た。初めて参加された方もおり、「家族と行くところより良いところに連れて行ってくれる。嬉しい。」と声が聞かれる。
七夕週間	7/7～7/12	恒例行事となっており、多数の短冊を書いて頂いた。日程の設定が七夕後であったために、今後は七夕までに行きたい。
ひまわりを 見に行こう！	7/17～ 7/23	予定日より遅れながら30名の参加者が小野・ひまわりの丘公園へドライブを行った。実際に観光地である現地に降りることはなかったが、「実際に見たほうがダイナミック！」と声がある。昨年は行事後に転倒事故があったが、今年は問題なく行えた。
夏祭り	8/4～8/9	恒例行事のスーパーボールすくい・千本引き・景品付きの輪なげなど今回は商品を狙うものが多くあったので楽しめたように思える。景品も持ちかえって家族に喜ばれるようなものを選択した。
買い物 ツアー②	9/18～ 9/30	玉津マルナカへの買い物ツアーを実施。合計17名の参加者で楽しまれた。在宅生活でも外出を促すことで大いにリフレッシュになると思われる。「毎回こんなに連れてきてもらって、タダですか？ガソリン代くらいとったらええのに！」と喜ばれておられた。

敬老会	9/16～ 9/21	日本舞踊・ヘルマンハーブ・ハワイアン・ギター三味線・大正琴と慰問を各曜日にあわせる。ともに唄うものがなく、盛り上がりには欠けた面もあるが、ゲストは「懐かしい歌が聴けて良かった」と喜ばれておられた。
遠足 (しあわせの村)	10/6～ 10/8	10.6～8に開催され8名の方が参加された。特にしあわせの村と言えば、リハビリ病院に通われたり、家族との思い出があったりと、個々の目的があり、選択肢に入れた意義を感じ取れた。「また行きたい。連れて行ってね。」と喜びの声が聞かれている。移動時間が少なく、ゆっくりと周れたと思う。
遠足 (舞子ビラ)	10/14～ 10/17	10名の方が参加される。こちらも「昔行ったことのある場所」とのことで回想的にもいろんなお話が聞いている。「孫がここで結婚式をした。」「兄弟でご飯食べに来た。」など風景だけでも楽しめた。バイキングの内容についても満足されている方が多く「家族でも来てみますから。」との前向きな声も聞かれる。
遠足(淡路・夢舞台)	11/4～ 11/7	昨年に引き続き開催。8名の方が参加される。昨年同様のコースであったが、いまだに淡路島という懐かしさがあるのか昨年に続いて連続で参加される方が3名おられた。中には初めて行かれた方もおり、移動距離の分だけ感動が得られたと思う。
買い物 ツアー③	12/2～ 12/14	21名の方が参加。年末の為、「お正月に必要なものを買って帰りたい。」との事での実施となったが、参加者が増加した。「この次期には助かる！」とのことでした。
クリスマス会	12/15～ 12/20	ビンゴゲーム後、一年を振り返ってのスライドショーを行った。期間内は日々、職員が入れ替わり、ナレーションを務めた。笑いあり、楽しく一年を振り返れている。特に「毎年写真で思い出を振り返るようにしてくれて嬉しい。」と喜ばれていた方もおり、恒例となって定着して頂ければ、と思う。
初詣	1/2～1/8	恒例の檀谷諏訪神社への初詣を行う。15名の方が檀谷諏訪神社へ行かれる。今年は雨が無く、気持ちよく初詣を過ごすことが出来た。
もちつき大会	1/5～ 1/10	恒例のDSもちつき大会。職員・ゲストが協力し合い、この週もおいしくお餅を食べることが出来る。毎年、「ここでしかお餅が食べられない。」との喜びの声が聞かれる。
買い物 ツアー④	3/3～3/15	15名の方が参加される。玉津マルナカへ行く。参加数は少ないも、「この企画は本当にありがたい。一人のお年寄りにとっては気分転換以上の存在になる。」とお褒めの言葉を頂いている。



●不定期開催行事

行事名	反省等
カラオケ 発表会	2月のカラオケ発表会に続いての夏版で開催。スペシャルゲストへのオファーは難しかったが、紙吹雪で盛り上げる際は非常にテンションの上がるかたが多く、ゲストと共に楽しめる一体感があった。「また歌いたい！」と喜びの声が聞かれる。
訪問販売	不定期に開催しているが、月・木・土の曜日にはゲストの話の中では「服売りに来るから早く風呂はいっところ！」と噂話になっているほどであった。定着しており、必ず「買っちゃうのよね～」と話されており話題にはなっている様子。
作品展示会	6月より作品を作って頂き、2月に発表ということもあり、忘れてしまっていることが多かった。しかし、制作の目標を設定することによっての場を作った。ゲストは「あんた、何を作ってたの？」とお互い興味を持つことが出来、良かった

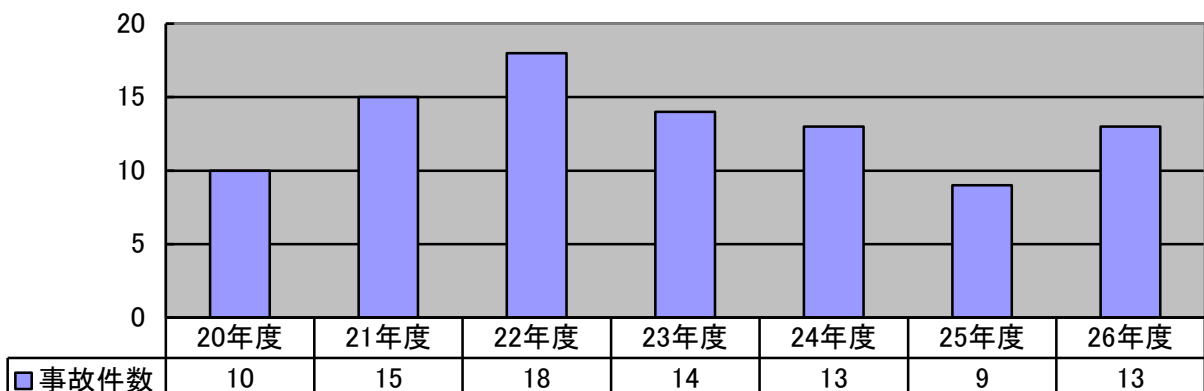
9. <<リスクマネジメント報告>>

☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

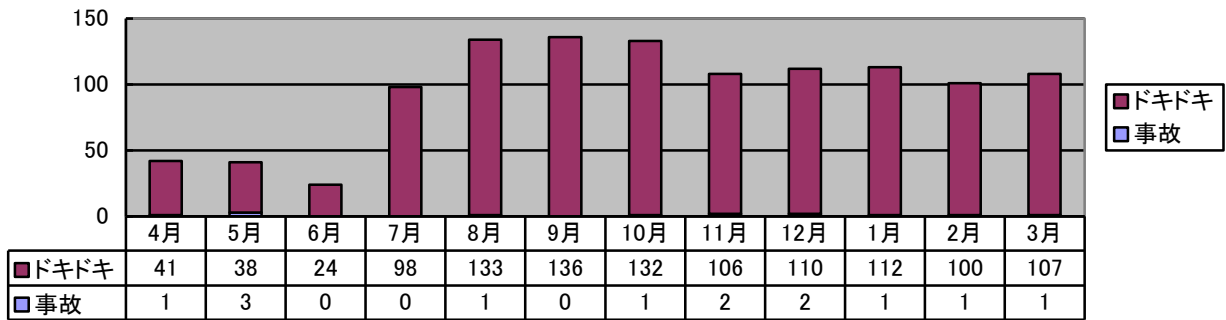
- ①報告件数・・・ 1, 150件 (事故13件、ドキドキ1, 137件)  
前年度1, 014件 (事故 9件、ドキドキ1, 005件)

ドキドキ報告が4月・10月～翌1月に減少した。制度改正・委員交代等が大きな要因である。又、要支援者の増加等が要因と思われる。前年に比べると、事故件数は1件減少している。

<年度別事故件数>

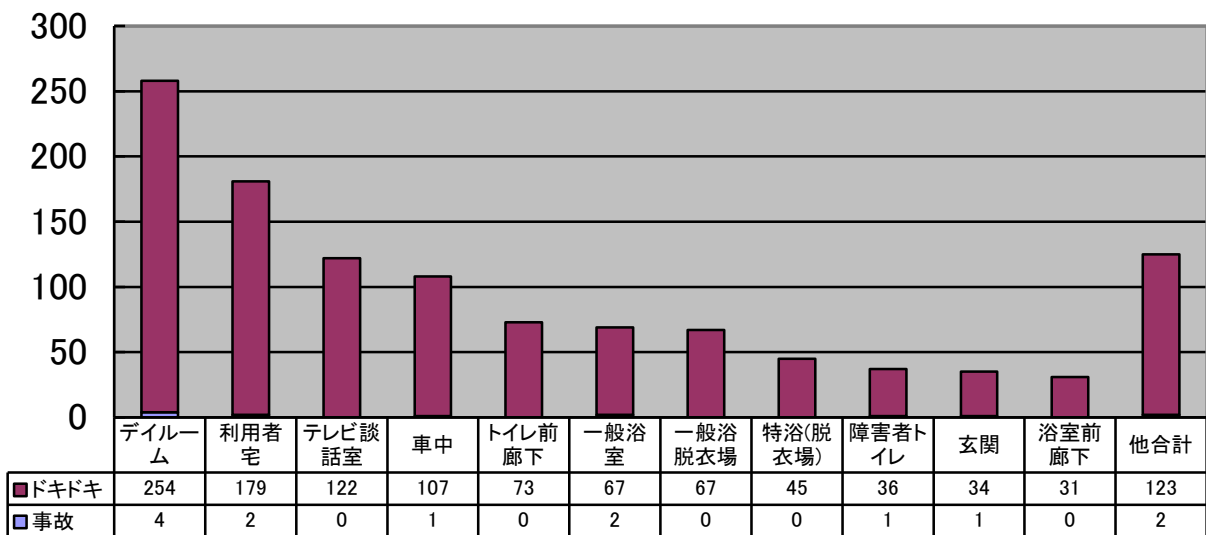


<事故・ドキドキ件数>



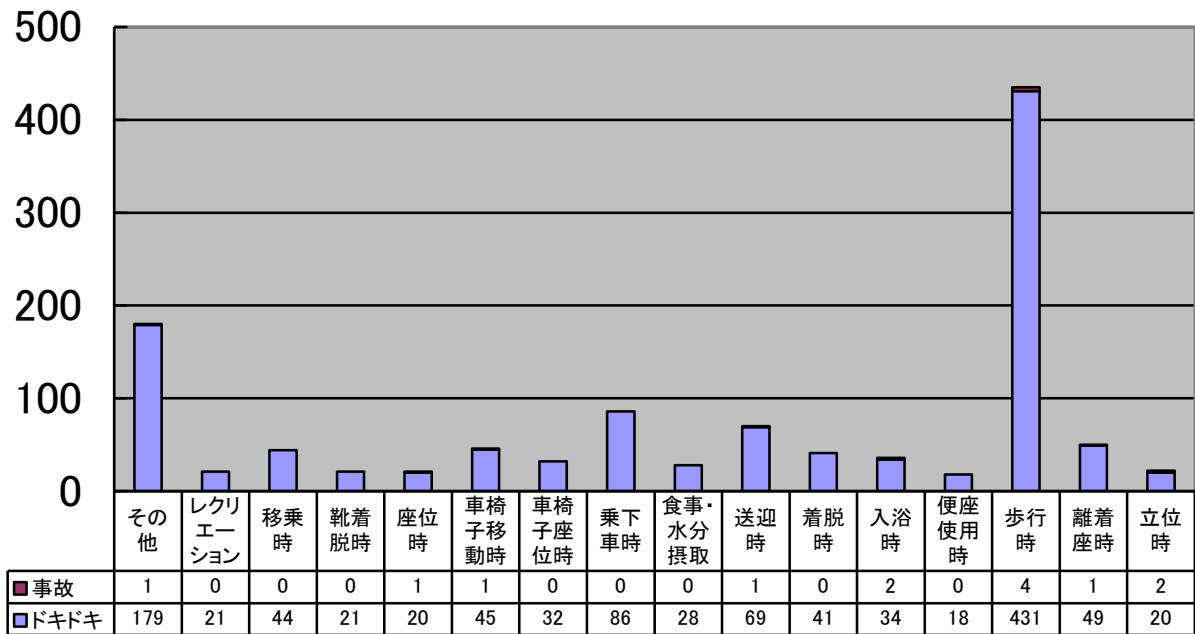
②発生場所別件数

ダイルーム 254 件・テレビ談話室 122 件とゲストが過ごす場所が多くある。一般浴室・特浴室が減少傾向にあり、ゲスト宅での件数が増加傾向となっている。送迎時に足元のおぼつかない方が増えたなどが理由と思われる。



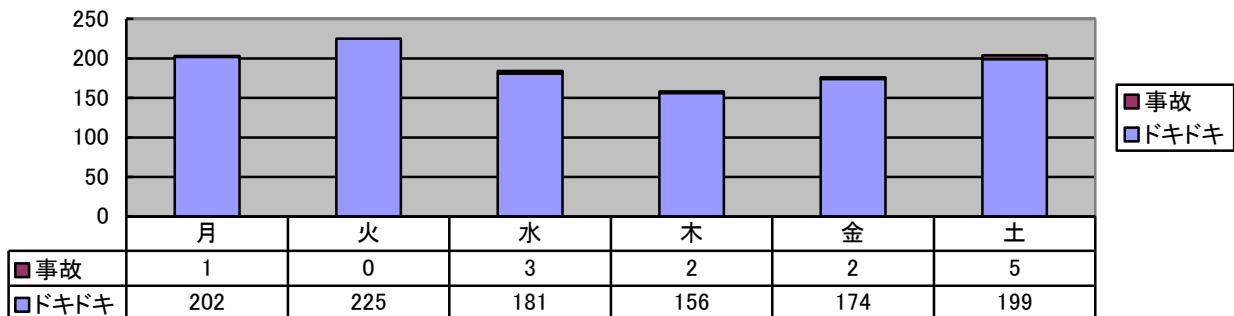
③発生状況別件数

歩行時が 431 件と前年度に続き多く報告されている。その他、乗下車時と続く。立位時においては歩行困難・転倒リスクの高いゲストの立ち上がり等が多い。スピーチロックをせずに歩行の付添を心がけている。



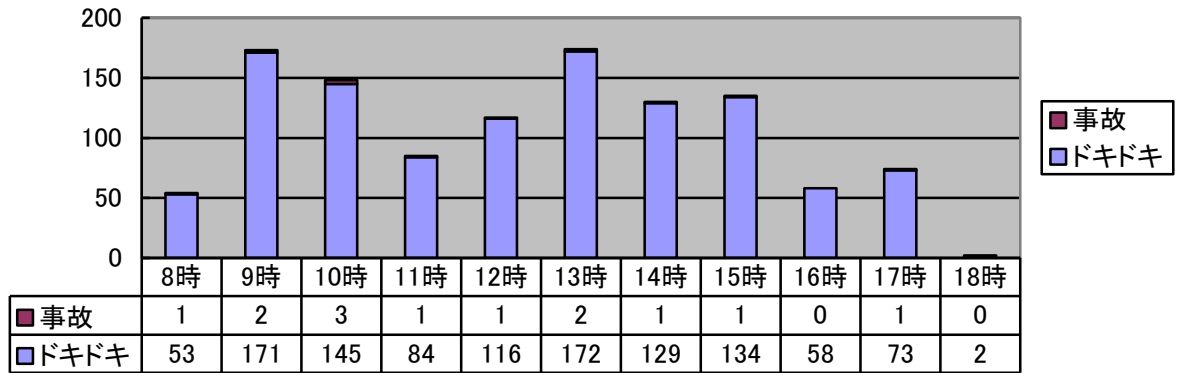
#### ④曜日別件数

火曜日が一番多く報告されている。(前年は水曜日) 特に変化はないが介護度の低い曜日であり、自立された方々が多い。歩行の際におぼつかない様子が見られたりしている。次いで月曜日となる。



#### ⑤時間帯別件数

ドキドキにおいては9時台・10時台・13時が多い。前年度に同様、入浴を実施している時間帯に職員が少ない事よっての報告が多い。見守りの手薄な時間帯になる為に報告が挙げられている。また送迎時の乗車時にも着目したことから送迎に携わる時間に増加傾向となっている。  
事故においても、午前中の発生件数が多い。ドキドキ同様に見守りの手薄な時間帯であることがわかる。



⑥ リスク面まとめ

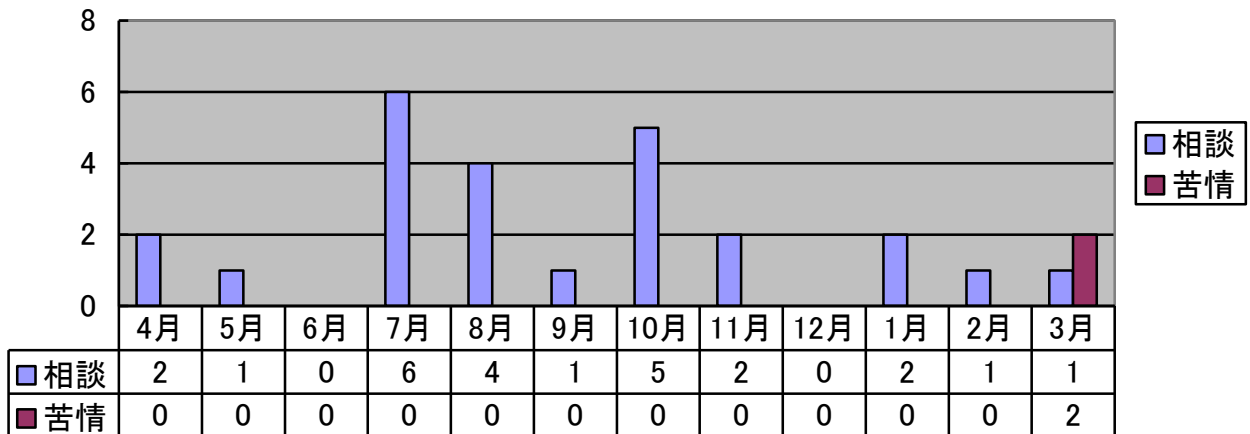
事故件数 13 件と大幅に増加したが、前年に続き充足率低下のためにゲスト人数自体が下がったため事故回避につなげる意識が上がった。前年度よりドキドキ集計は 132 件増加となっている。  
重大事故の発生がなかったが、事故件数減少に向けての意識を高めていきたいと思う。

10. << 苦情・相談報告 >>

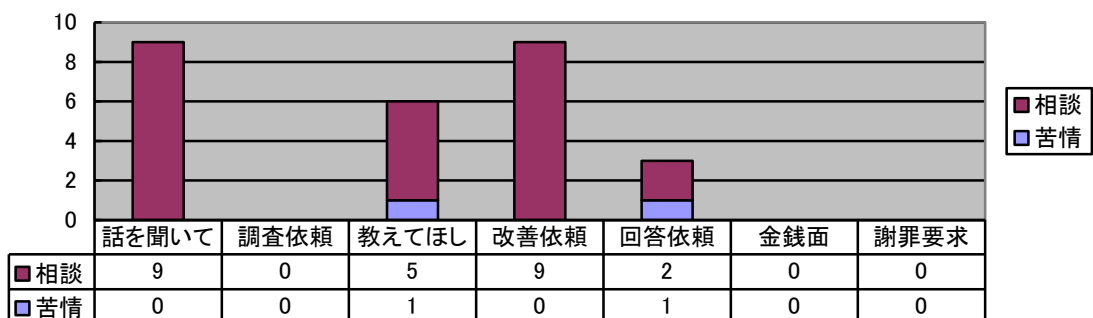
苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

① 報告件数・・・27 件（苦情報告 2 件、相談報告 25 件）

前年度・・・20 件（苦情報告 1 件、相談報告 19 件）



② 要望分類



## ○主な内容

些細な説明不足などが相談・苦情に繋がっていることがある。ノート・手紙などの未確認・返答不足などで指摘された面もある。送迎やカンファレンスなどで、顔合わせから説明をすることによって減少に努め、どんな相談でも話し易いようになれる関係の構築を目指したい。

## ○まとめ

手紙に対する返答やノートの未確認を指摘されてしまい、怒りをかってしまったパターンが多くある。苦情については利用料金をもう一方の家族にお知らせするという、複雑な家族間の連れから発生してしまったものであった。謝罪要求など重大なものには発展していないものの、これからもゲスト・ご家族の声に耳を傾けていきたいと思う。

## 11. 《総括》

本年度も前年に続いて入院・入所などの登録抹消で大幅な充足率減少が見られた。60%台という大幅な減少である。問い合わせ内容に重度のゲストが増え、医療的なニーズを求められることが多くあった。胃瘻や腸瘻・浣腸処置や事細かな内容なものは利用を断ることが多かったせいか、問い合わせ数は減少している。依然、利用ポイントの導入も欠席率減少にはつながっていない。

また、直接的な訪問や声掛けにより、『なんとなくの欠席される理由』を解消していったが、充足率上昇には繋がらなかった。

27年度は制度改正により、サービスについても大幅な変更が求められる。中重度者の受け入れを中心にするという方針を出し、いままでのイメージを一新する。

特養併設のデイサービスの強みをいかし、ゲスト・ご家族様にとっても安心できるデイサービスにしていきたいと考える。